

テュートリアル課題 咳、鼻水、関節痛

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-08-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/30671

2010 年度 Block. 5

課 題 No. 4

課題名：咳、鼻水、関節痛

課題作成者：膠原病リウマチ痛風センター 南家由紀

シート1

中村さんは、会社員の48歳の男性です。
数ヶ月前から時折咳や鼻水や関節痛がありましたが、放置していました。最近は疲れやすくもなり、こんなに長く具合が悪いことから免疫力が低下しているのではと心配になりました。

シート2

胸部レントゲンは右肺上葉に異常陰影（資料1）がありました。中村さんは精査のため入院しました。
喀痰検査では異常はありませんでした。胸部CTで写真（資料2）の像がみられました。そこでCT下肺生検を受け退院となりました。
退院後も同様の症状が続き、鼻閉さらに関節痛の増悪と、目の充血、嘔声も出現してきました。

シート3

CT下肺生検の組織像は（炎症性偽腫瘍）でした。
つぎの外来受診時検査データも悪化していました（資料3）。

シート4

確定診断のため腎生検を施行しました。
病理組織で激しい変化がみられました（資料4）。
確定診断がつき、担当医から説明を受けましたが、不安になりました。さらに特定疾患の申請について説明を受けました。

シート5

ステロイドとシクロホスファミドを用いた治療が開始されました。肺陰影や腎機能所見、さらにC-ANCAも低下しました。